2012年、鈴鹿サーキット開場50周年

鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）は、1年後となる2012年9月20日に開場50周年を迎えます。

1962年9月20日、日本初の本格的なレーシングコースとして開場して以来、鈴鹿8耐や、F1日本GPなど、様々なレースを開催して参りました。

それとともに、ゆうえんちモートピアでは「操る喜び」をコンセプトに、のりものを自社で開発し、3歳のお子さまから楽しめる「プッチタウン」や「モトフィールド」、また大人の方も本格的なモータースポーツ体験のできる「モータースポーツランド」を展開して参りました。

交通教育センターでは運転技術の習得にとどまらない「人」に焦点を当てた交通安全教育プログラムを展開しております。

これら3つの大きな事業にホテル・レストラン・温泉を併せ持つ施設として家族で一緒に楽しめる「モビリティのテーマパーク」を目指しております。

そして、アニバーサリーイヤーを迎える2012年、国際レーシングコースでのイベントやモートピアにご来場いただくお客様に、鈴鹿サーキットならではの「モータースポーツの楽しさ」をより感じていただける新しいエリアをオープンさせるとともに、さらなる飛躍を目指して様々なイベントを開催し、モビリティを通じた「喜び」「楽しさ」「感動」をお持ち帰りいただけますよう、新しい50年に向けて進んで参ります。

開場50周年を迎え、さらに進化する鈴鹿サーキットにご期待ください。

株式会社モビリティランド　取締役社長
大島　裕志

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295
三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

SUZUKA CIRCUIT

MEDIA INFORMATION

2011年9月20日配信

鈴鹿サーキット50周年記念事業

2012年3月3日(土)

ジュニア専用カート「コチラレーシングカート」新登場

小学生から大人の方まで気軽にモータースポーツを体感できるモータースポーツランドがリニューアル。
身長130cmのお子さまから本物のモータースポーツ体験ができる新アトラクションが登場! （5ページ）

レーシングカートリがニューアル
「アドバンスカート」へ進化

モータースポーツランドのレーシングカートがリニューアル。
コチラレーシングカートのステップアップアトラクション。 （5ページ）

2012年3月3日(土)～4日(日)

「2012モータースポーツファン感謝デー」

鈴鹿サーキット開場50周年のオープニングイベント「2012モータースポーツファン感謝デー」を
皮切りにアニバーサリーイヤーが本格始動。 （6ページ）

2012年7月7日(土)

モータースポーツ体感アトラクション「レーシングシアター」新登場

リアルなモータースポーツ体験ができるシアター型アトラクションや実際に身体を動かし体験できるアクティビティ、
名シーンを切り取ったレーシングマシンの展示がそろうモータースポーツ体感アトラクション。 （4ページ）

2012年9月(予定)

鈴鹿サーキット50thアニバーサリーデー

国際レーシングコースが開場した9月には、50周年を記念した特別なイベントを開催。 （6ページ）

**さらに、鈴鹿サーキットが皆様と歩み、これからもともにあり続ける新たな第一歩として
開場50周年記念ロゴを募集いたします。** （8ページ）

2012年12月まで、一年を通じて様々なイベントを開催いたします。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295
三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

鈴鹿サーキット50年の軌跡

「夢」のはじまり

鈴鹿サーキットは本田技研工業株式会社の創業者　本田宗一郎の「走り、競う場を提供し、クルマの安全性・性能を追及していく」また、藤澤武夫の「エンジンのついた乗り物を操る喜びを味わえる自動車遊園地をつくり、自動車産業の発展に寄与していく」という「想い」「夢」の実現のため誕生いたしました。

ビッグイベントの開催とモータースポーツ発展の取り組み

日本初の国際レーシングコースとして、1961年に着工、1962年に開場した鈴鹿サーキットは、国内に高速道路も開通していない同年11月に、オープニングレースとして「第1回全日本ロードレース」、翌1963年には、日本初の本格的自動車レース「第1回日本グランプリ自動車レース」、日本初の世界選手権レースとなる「世界選手権第1回日本グランプリロードレース」を開催いたしました。

以来、鈴鹿8時間耐久ロードレース（1978年初開催、1980年より世界選手権、1984年よりコカ・コーラ様による冠スポンサード）、世界選手権ロードレース（1987年～1999年、2001年～2003年）、F1日本グランプリレース（1987年～2006年、2009年～）などのビッグレースをはじめ、国内フォーミュラや耐久レース、参加型モータースポーツイベントを開催。また世界に通用するドライバー、ライダーの育成を行うレーシングスクールの開校などにより、日本のモータースポーツの発展に努めて参りました。

操る喜びをお子さまに!

1963年、国際レーシングコースに併設して自動車遊園地を開業いたしました。以来、「モートピア」として、当社独自の企画開発によるオリジナリティーあふれるのりもので、お子さまに操る喜びを体験していただいております。

2000年には3歳のお子さま自ら操る喜びを体験できるエリアとして、「プッチタウン」をオープン。さらに2010年には、「モビリティ」の世界を通して、子どもたちの健全な成長のためのきっかけ作りの場としてリニューアルし、より家族で一緒に楽しめるエリアへと進化を続けています。

交通安全への取り組み

1964年より白バイ・パトカーの運転技術指導を開始し、健全なモータリゼーションに寄与して参りました。1979年には交通安全教育施設を新設し、「鈴鹿サーキット交通教育センター」として、交通教育を通じたドライバー・ライダーのマナーや技術の向上に取り組み続けています。

鈴鹿サーキットで快適にお過ごしいただくために

1966年のホテル開業、また1994年、天然温泉「クア・ガーデン」のオープン以来、時代のニーズに合わせて進化して参りました。

1999年には「鈴鹿サーキットフラワーガーデンホテル」としてリニューアルし、レストランと共に鈴鹿サーキットでより快適にお過ごしいただくために努めています。

多くの方々にご満足いただく「モビリティテーマパーク」としての鈴鹿サーキットへ

鈴鹿サーキットでは「モビリティ」とは人の移動に関わる領域すべてのことと位置づけ、「モビリティ」の持つ利便性、楽しさ、価値を、より多くの方々にお伝えしていくことを目指しています。

鈴鹿サーキットは、「モータースポーツ」、「モートピア」、「交通安全教育」、「リゾート」の4つの施設からなる、「モビリティテーマパーク」として今後も取り組んで参ります。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

SUZUKA CIRCUIT

MEDIA INFORMATION

2011年9月20日配信

鈴鹿サーキット50周年記念事業

モータースポーツ体感アトラクション

「レーシングシアター」誕生!

鈴鹿サーキットに訪れたお子さまからモータースポーツファンまで、すべての方にモータースポーツの楽しさを感じていただける新たなアトラクションが誕生します。

2012年7月7日(土)誕生!

リアルなモータースポーツ体験ができるシアター型アトラクションや実際に身体を動かし体験できるアクティビティ、名シーンを切り取ったレーシングマシンの展示が揃う体感型アトラクションです。

※イラストはイメージです。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

鈴鹿サーキット50周年記念事業

※写真はイメージです。

ジュニア専用カート
「コチラレーシングカート」新登場!

2012年 3/3(土) 新登場

自ら操る圧倒的なスピード感!
鈴鹿サーキット初のモートピアパスポート(のりもの乗り放題チケット)で乗車できる本格レーシングカート。
身長130cmのお子さまから乗車可能です。

レーシングカートがリニューアル
「アドバンスカート」へ進化!

「コチラレーシングカート」のステップアップアトラクション。マシンを一新した「アドバンスカート」では、身長140cm以上の方から大人の方まで気軽にモータースポーツを体感いただける本格レーシングカートです。

※3/3より大観覧車ジュピターは「大観覧車サーキットホイール」へと名称変更します。

2012年、新エリア「GPフィールド」が誕生。(右図参照)
「レーシングシアター」「コチラレーシングカート」
「アドバンスカート」が登場するこの「GPフィールド」では、
お子さまから大人の方まで、ご来場のすべての方に
モータースポーツの楽しさや迫力を体感していただく
エリアとして進化して参ります。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

鈴鹿サーキット50周年記念イベント

50年間の感謝を込めて、一年を通じて様々なイベントを開催。

鈴鹿サーキットを支えていただいた皆様への感謝と、新たな鈴鹿サーキットを目指してよりたくさんのお客様にお楽しみいただけるよう、レーシングコースだけでなく鈴鹿サーキット全域でイベントを開催いたします。中でも、国際レーシングコースが完成した9月には、鈴鹿サーキット50thアニバーサリーデーとしてレーシングコースでの新たなイベントの実施や新商品を展開いたします。イベント開催時だけではなく、日頃からお客様にお楽しみいただけるよう、お客様参加型のイベントも充実させて参ります。
詳細は順次お伝えいたします。

開場50周年記念イベント 1

鈴鹿サーキット50周年アニバーサリーイヤーオープニングイベント

2012モータースポーツファン感謝デー

開催日/3月3日(土)・4日(日)

開場50周年のオープニングイベントとして、3月3日(土)4日(日)に、
『鈴鹿サーキット50周年記念 2012モータースポーツファン感謝デー』を開催いたします。
過去50年の歴史を振り返る企画や展示イベントを実施し、
さらに、2012年に鈴鹿サーキットで開催されるモータースポーツイベントを様々な形でご紹介いたします。

開場50周年記念イベント 2

鈴鹿サーキット50thアニバーサリーデー

開催日/9月(予定)

1962年9月に完成した、鈴鹿サーキット国際レーシングコース。
節目となる9月に「鈴鹿サーキット50thアニバーサリーデー」を開催します。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

SUZUKA CIRCUIT

MEDIA INFORMATION

2011年9月20日配信

2012年　鈴鹿サーキット開場50周年記念展
同時開催:日本レース写真家協会40周年写真展「モータースポーツに魅せられて」

2011年F1日本グランプリにて 鈴鹿サーキット開場50周年プレ展示イベントを開催

■開催日:2011年10月6日(木)～9日(日)　■場所:GPスクエア特設会場

1「鈴鹿サーキット開場50周年のあゆみ」

1961年の国際レーシングコース着工から2011年までの鈴鹿サーキットのレースやイベントなどの出来事を当時の写真や年表などとともにご覧いただけます。

2「モータースポーツの歴史」

開場当時に実際に使われた、オメガ光電管、手動式タイム計測機をはじめ、1962年全日本選手権ロードレース、1963年全日本グランプリ自動車レース、1963年世界選手権日本グランプリロードレースの公式プログラムやメダルなど当時の貴重な資料によりモータースポーツの歴史を振返ります。
1963年「第1回日本グランプリ自動車レース」での優勝マシン「ロータス23B(レプリカ)」も特別展示。

3「2012年開場50周年記念事業 紹介」

開場50周年記念事業の新施設、「レーシングシアター」、「コチラレーシングカート」や様々なイベントを紹介いたします。

4 日本レース写真家協会40周年展「モータースポーツに魅せられて」

今年日本レース写真家協会(JRPA)40周年にあたり、日本レース写真家協会40周年展「モータースポーツに魅せられて」を同時開催。プロカメラマンによる歴史に残るさまざまなレースシーンの中からセレクトした写真パネルをご覧いただけます。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

SUZUKA CIRCUIT

MEDIA INFORMATION

2011年9月20日配信

鈴鹿サーキット　開場50周年記念ロゴ　コンテスト

鈴鹿サーキットが皆様と歩み、また、これからもともにあり続ける新たな第一歩として、開場50周年記念ロゴを募集いたします。皆様からの斬新なアイディアや、想いのつまったデザインを募集いたします。

最優秀作品は、F1日本グランプリを含む2012年の各種イベント、グッズ、マーシャルカーなどに使用いたします。

募　集　要　項

作品提出期間

2011年12月12日（月）必着

賞

最優秀賞（1作品）
2012 F1日本グランプリ特別観覧席ペアご招待（+旅行券3万円分）
F1日本グランプリを含む2012年の各種イベント、グッズ、マーシャルカーなどに使用させていただきます。

モータースポーツ賞（1作品）
2012年開催レース（F1日本グランプリを除く）年間観戦券ペアプレゼント（+旅行券3万円分）

モートピア賞（1作品）
モートピア年間パス家族4名様分プレゼント　ホテルファミリールーム一泊ご招待（+旅行券3万円分）

募集内容

テーマ:あなたの考える「鈴鹿サーキットらしさ」
2012年の鈴鹿サーキット開場50周年をPRするロゴタイプを募集いたします。
鈴鹿サーキット開場50周年がわかるよう、必ず「50」を入れたロゴをデザインしてください。

応募方法

表現方法は自由です。所定の応募用紙に必要事項を記入し、送付先に提出してください。提出可能な方はイラストレータ形式でモノクロ/カラー（CMYKプロセスカラー、特色、蛍光の使用禁止）にて制作したデータを、CD-Rに保存し、印刷した作品を同封してお送りください。応募締め切り日である、12月12日（月）到着分まで受付けます。なお到着および受付の確認に関するお問い合わせには応じません。

※応募書類は原則として返却いたしません。必ず控えを残してから提出してください。※複数点応募される場合、複数の応募書類をまとめて封入しても結構です。

審査方法

提出書類による審査を下記審査委員にて行います。

F1ドライバー	株式会社	株式会社モビリティランド
小林可夢偉 選手	手塚プロダクション	取締役社長 大島 裕志

発表
2012年1月中旬　受賞者本人に直接通知いたします

参加資格
不問　※モートピア賞は小学生以下の応募者の方から選ばれます。

個人情報の取り扱い
お送りいただいた個人情報は本企画の利用目的の範囲内（受賞発表通知など）のみに使用いたします。

著作権の扱い

応募作品が入賞した場合、その応募作品の特許、実用新案、意匠、商標、著作権（著作権法第27条及び第28条所定の権利を含む）に関する全ての権利は株式会社モビリティランドに帰属するものとします。尚、権利の譲渡対価は当社規定の賞品をもって充てるものとします。

※入賞作品は、使用する段階で弊社にて微調整する可能性がございます。

主催
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

送付先 お問い合わせ先
〒510-0295　三重県鈴鹿市稲生町7992　TEL:059-378-1111（代表）
「鈴鹿サーキット50周年記念ロゴコンテスト」事務局
応募要項に関する詳細は、鈴鹿サーキットホームページをご確認ください。

鈴鹿サーキット　西コースを全面再舗装

2012年はコースレコードの更新、ハイスピードバトルによる新たなレース展開が見所となる!!

2011年12月～2012年2月にかけて、国際レーシングコースの西コース（約3.4km）を全面再舗装し、開場50周年となる2012年は、世界のトップドライバー・ライダーから高い評価を得ているコースレイアウトはそのままに、鈴鹿サーキットが新しいコース路面へと生まれ変わります。

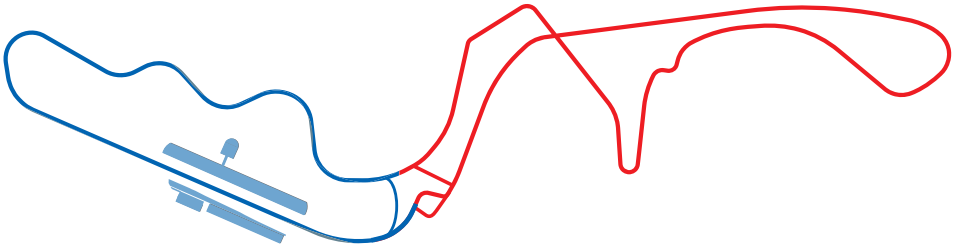
西コースの全面舗装工事は1994年以来、18年ぶりで、すでに東コースは（約2.2km）2009年に全面舗装工事を実施しております。今回の工事と合わせてコース全周が新しい路面となるため、2012年シーズンはグリップの向上した新路面効果によるコースレコードの更新が予想されます。また、ハイスピードバトルにより新たなレース展開が繰り広げられることも予想され、2012年の鈴鹿サーキットはあらゆるカテゴリーで見所溢れるレースが期待されます。

工事期間（予定）	2011年12月20日（火）～2012年2月18日（土）

※東コースは一斉休業期間〔2012年1月21日（土）～2月6日（月）〕を除き、工事期間中も通常通り営業いたします。

工事箇所	西コース全周（ダンロップコーナー過ぎ～シケイン）/約3.4km

鈴鹿サーキット国際レーシングコース　西コース部分



赤線：今回の舗装箇所／青線：2009年の舗装箇所

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/